

## 令和4年度 第2回 丹波市立図書館協議会 会議録（要旨）

◇日 時：令和5年2月24日（金）

◇開 会：午後2時00分

◇閉 会：午後4時10分

◇会 場：丹波市立中央図書館 視聴覚室

◇出席者：（会長）畑田 久祐 （副会長）中澤 利恵  
（委員）藤原 廣宣 伏田 雅子 常石 孝子  
矢本 正巳 吉住 美代 細見 能成

◇欠席者：

（委員）足立 宏幸 梅垣 泰三

◇図書館事務局： 近藤 利明 山内 邦彦 青木 浩文

### 1 開会

### 2 あいさつ

#### 会 長

本日は令和4年度の図書館活動状況報告を受けたり、また協議の方では令和5年度の取組について、協議を行う会議になっております。いつもですけれども皆様方の忌憚のないご意見をいただいて図書館の運営がスムーズに運びますようよろしくお願いいたします。

#### 近藤館長

新型コロナウイルス感染につきましては、国が5月8日から、2類から5類へ引き下げるとの記事も出ておりました。ようやく日常生活が戻ってくるのかなと大変喜んでおりますし、図書館運営につきましても3年ぶりに平時の運営ができることを大変期待しているところでございます。

本日は、令和4年の運営状況と利用状況をご報告させていただきわけですが、なかなか大きく伸びない状況でございまして、そういう中で、新たに電子図書館のサービスを開始したり、新聞でご覧になられたかと思いますが、2月17日から23日にかけて、市内の猫保護団体、氷上西高校1年生グループ、図書館の3者が連携して、2月22日は猫の日ということで、保護猫のパネル展示とか、子どもたちが絵を描いてPRするとか、また猫に因んだ本を展示して、一般の来館者に見ていただく取組を行いました。図書館はただ本を借りて出すところだけではなく、新たな視点で人が集える場所として利用させていただくことで、本の貸し出し冊数や図書館の利用者数が増えたり、新規登録者数が増えるとかそういった効果を期待して、来年度以降も職員、担当者がいろいろなアイデアの中で、いろいろな取組をしていきたいと思っておりますので、本日もご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

### 3 報告（青木係長 説明）

#### （1）令和4年度 丹波市立図書館活動報告について（概要報告）

##### ①丹波市立図書館の新型コロナウイルス感染防止対策の対応状況

資料1

##### ②丹波市立図書館事業取組状況（事業実績）

資料2

#### 【質疑等】

##### 委員

資料1の新型コロナ対応策で令和4年の6月から座席数を半分、滞在時間の制限なしにされた対応に関連してですが、かつて私が図書館にパソコンを持ち込んでコンセントの電源を使用しようとした時に使えないということでした。

大阪府立図書館でも、現在はわかりませんがコンセントにはテープを貼って使えないようにしてありました。先ほども電子図書館開設のお話があったのですが、将来的にコロナが収束して、図書館での端末機器等の使用も出てくると思います。図書館のコンセントをバックアップ的に直接使用することに対して、今後も制限されるのか。

#### 図書館事務局

学生や一般の方もパソコンを持ち込まれることがあります。基本的には閲覧コーナーの床下のコンセントにテープを貼るなどして使用できないように措置させていただいています。館内には掃除等をするために壁等にもコンセントを設けていますが、キャップを施しており、今後も使用は同じように規制していきたいと思っております。

#### 委員

兵庫県立図書館、国会図書館等でもパソコンのエリアがあって、電源がテーブルにあります。電源を公共施設だから使えないようにしているというのは、状況をみていくと非常にローカルなルールになるように感じるのですが。

#### 図書館事務局

市内公共施設は、電源を使用できないようにしていると思います。

#### 委員

同僚委員が言われますように、新幹線、電車、喫茶などで使えるようになっていっていますので、時代的な錯誤があるように思います。公共施設だからというのではなく、電源があるのが普通の状況になっていっていますので、それはそれで良いのではないかと。もっと削らなければならないことはほかにもあるように思うのですが。

#### 図書館事務局

やはり民間と公共の区別もありますので、JR等は料金の対価としておそらく電源を設置されると思うのですが、他市等の公共施設では無料の施設もあるようですが、図書館だけではなく、やはり市全体としての検討も必要になるかとは思っていますので、お時間をいただきたい。

#### 委員

図書館というのは本を借りるだけじゃないと先程お話がありました。単に公共機関だから、電源は使えないというのは非常にわかりやすいことなのですが、今後、いろいろな媒体が入ってくる可能性がある中で、それをキーステーションにしながら、いろいろなところにネットが繋がっていくという、その知的な繋がりという意味で、いろいろな知的な活動をする場所という図書館の特殊性から考えて、テーブルに電源がなければ非常に不自由なわけですし、ましてや新型コロナの制限もなくなってきているわけですから、将来的に改修等々が入るときには、テーブルに電源があるようなことも考えながら整理していくという意味でも図書館だからそういう情報機器を持ち込んで、自由に使えるというような発想を持っていただきたい。

#### 委員

電源の使用に際して、そんなに電気代がかかるわけではないと思いますので、同僚委員の意見に賛成します。

#### 図書館事務局

現在いろいろな情報収集については専用のパソコンを設置しておりますので、学習等の情報を得ようとするならばそちらでも情報収集は可能です。現時点では個人の機器等での電源の使用はご遠慮いただいておりますので、只今いただきました件については、ご意見として検討させていただきたいと思っております。

会長

そもそもこの図書館の機能として、いわゆるスマホ、パソコン等の持ち込みは禁止されているのですか。

図書館事務局

無料Wi-Fiの設備もしていますので、そういう通信機器については持ち込んでも構わないものとしています。

会長

以前は他の利用者の迷惑になることから、館内で電話を使用し、話しをされていけば注意をしにくいような環境でしたが、当然、通信機器を持ち込む環境を整備されている中では、実際その辺も含めて改善はされているのですね。

図書館事務局

そうですね。やはり時代に即して、そういう改善は行ってきています。

会長

そこで、充電行為も含めて、逆に言うとWi-Fi環境が整備されていても通信機器の充電ができていなければ使用できないという話になると思われるので、今後、他の市の施設も含めて改善や方向性が決められると良いと思います。

委員

通信環境のお話が出ましたので、フリーWi-Fiが入っているのですが、電波状況が弱いような気がするのですが。

図書館事務局

利用者からは現在のところ館内での使用に関して、速度なり、電波状況が良くないというような苦情等は聞いておりません。

(青木係長 説明)

(2) 令和4年度 丹波市立図書館の利用状況について

① コロナ禍図書館利用状況 (年度対比)

資料3

② 年度別利用状況

資料4

【質疑等】

委員

1人当たりの貸出冊数とかいうのは分からないのでしょうか。

図書館事務局

本はどここの図書館でも借りることが出来ますので、一番出しにくい数字ではあります。

委員

各図書館の合計数というのをどのように捉えたらいいのかなというところなのですが。

図書館事務局

柏原図書館、市島図書館などそれぞれの図書館が持っている蔵書の貸出冊数となります。

#### 4 協議事項（青木係長 説明）

##### （1）令和5年度 丹波市立図書館の取組について

①「令和5年度 丹波市の教育 ～実施計画～」について  
具体的施策5 暮らしにとけこむ図書館づくり

資料5

②令和5年度丹波市立図書館事業計画(案)について

資料6

③令和5年度蔵書計画について

資料7

④令和5年度 図書館の開館日について

令和5年度 丹波市立図書館カレンダー

資料8

#### 【質疑等】

##### 委員

令和4年度の5年度事業計画に比べたときに、子ども読書推進関係の中で、毎月23日は家庭読書の日の項目が、令和5年度ではないのですが、これは図書館ブログ、フェイスブック、ラインのところに移ったというふうに解釈したらいいのでしょうか。

##### 図書館事務局

そうですね。この取組については継続してやっていきたいと思っております。図書館の職員が、各種イベント等のことに関するブログの更新をしたり、各種イベントの開催案内をさせていただいたりというようなこと、さらに丹波市教育委員会のLINEを通じた情報の発信をしていきたいと思っておりますし、読書推進に関する推し本等の紹介というようなことも継続して進めていきたいと思っております。

##### 委員

資料5の暮らしにとけこむ図書館づくりの職員研修に関連して、先進的な取組をしている組織があれば、研修に行くような経験が私自身もあるのですが、昨年、兵庫県の広報で三木市の吉川町が、図書の出で全国3番目というのを知りましたが、吉川町での活動について何かご存じでしょうか。

##### 図書館事務局

情報をいただきありがとうございます。十分な情報の把握ができておりませんので、一度調査をしたいと思えます。

##### 委員

ブックトークというのが分からなくて、どういうことをされているのか。それからもう一つ、新井自治協議会の方では子どものチャレンジ学習を夏休みに行っています。そういった時に、図書館に何らかの登録をすることで、4・5・6年生の子どもたちの指導に図書館の方から来ていただけるのか。

あともう1点は、マイナンバーカードと図書カードとの連携というのですか、何か連携しているところもあるようなことを聞いたりもするのですが、今後どういうお考えなのか、以上3点についてお尋ねしたい。

##### 図書館事務局

まず、ブックトークについては、図書館司書等がテーマに沿った何冊かの本を選んで、それらの本の内容の一部を子どもたち紹介するというようなものですが、それらをいかに子どもたちに興味を持たせて、その本を後で読んでもらえるように紹介をする技術や方法をブックトークといいます。

自治協議会の対応ですが、毎年、小学校なり、例えば子育て学習センターなどから申請があって、そこへ図書館から読み聞かせなどに出向いていくような形なので、それと同じ考え

方になると思います。

マイナンバーカードとの連携につきましては、協議資料にも記載しているのですが、マイナンバーカードで本を借りることもできます。そのための登録手続きはどうしても必要にはなりませんけれども、市内の図書館でマイナンバーカードでの対応が可能となっています。

#### 副会長

ボランティアグループ活動についてですが、私は「たからばこ」という中央図書館を中心に活動しているグループでおはなし会をしています。コロナの時にそのおはなし会もできない状態が続いて、現在は再開しているのですが、なかなか読み聞かせに来てくれる親御さんが帰ってこない状況です。

火曜日についてはもう全くゼロの状態がずっと続いていて、コロナの前は子どもさんを連れられたお母さんが聞きに来てくれていたのですが、ゼロの状態、土曜日はまだ少ないのです。

私たちも小さい頃の読み聞かせは子どもの心の発達にはとても大事だということで、ずっとしているのですが、火曜日がゼロの状態なので、もう図書館で待っているだけじゃなくて、出て行こうかなということ、5年度は出張読み聞かせという形ですすることにしました。

第3火曜日に子育て学習センターのゆめタウンの市民プラザで、土曜日については今まで通り第2と第4は中央図書館で開催しようと思っています。

うちだけではなく他のグループも図書館で読み聞かせをしているのですが、なかなか来てくれる子どもさんが少なくなっている現状があって、読み聞かせのグループも図書館の取組と同じようにいろいろなところと連携しながらやっていけないと思っています。

#### 委員

資料2-1の2ページ中には読み聞かせグループが6グループ書いてあり、資料6の2ページでは5グループになっているのですが、しばらく休まれていました⑤の「あおむし」さんが、復活されているので付け加えてください。

それと、先ほど説明のあった子ども図書館司書修了生の活躍の場については、中央図書館だけではなく、市島図書館などでも読み聞かせグループの方と一緒に活躍してもらっています。

#### 委員

以前に、認定こども園の先生から本の読み聞かせやおはなし会について詳しい方を紹介してもらえないかと相談を受けたことがあり、読み聞かせグループに繋ぐようにしたのですが、認定こども園の先生でも市内に読み聞かせグループがあることをご存じありませんでした。

また、図書館での団体貸出しについて、学校などは調べ学習などでよく団体貸出しを利用されると思うのでよく知られているのですが、自治会や公民館の活動でも、まとめて本を借りることができることを地域の方などはやはり知っておられない。

それと、先ほどもお話のあった電子図書館など、図書館の状況が変わってきていることについても、ブログ等も通じて広報もされているのに知っておられないので、何とかならないかと。子どもたちや地域の人たちに、おはなし会や読み聞かせ、電子図書館などの機会を通じて本が繋がっていかないかなと考えたりしています。

#### 委員

先日、子ども読書推進講座に参加させていただきましたが、子どもたちにとって絵本の読み聞かせがどれだけ意味があるものかが、すごくよく分かる内容のものでした。

そうした子ども読書推進活動について、認定こども園等の職員や組織、美術館など施設との連携、またブックトーク、団体貸出しなどの取組をより充実したものにしていただければと思います。

#### 会長

実際に図書館を利用している人は、団体貸し出しを含め、丹波市民全体の1割しかないというのが実態で、あとの9割の人はあまり利用されていない。

今年の市の生涯学習アンケート調査でも図書館カードの利用実績とまさに同様で、図書館を90%の人は利用していないとの結果が出ています。それをどのように利用してもらえよう仕向けていくのが、大きな課題だと思います。

生涯学習を展開していくための施策はいろいろあると思いますが、そのベースになるのはやはり本を読むということから始める必要があると思います。

実際いろいろな情報は図書館に行かなくてもパソコン等で得ることができる時代にはなっていますが、将来の自分や人の役に立つために生涯学習を展開していくためには、いろいろな分野のを知る必要があります、そのきっかけとして本を1冊1冊購入することは大変なことで、それを公共であれば無料で借りることができるシステムがあるのに9割の市民の皆さんはそれを知らない状況です。

昨年11月の広報紙で図書館の機能や便利さを初めて知った人もあったのではないかと思います。先ほども言いましたが、こういう仕掛けをもっとどのように行っていくのかというのは今後の大きな課題だと思います。それについて毎年議論はされてきているものの、あまり大きく進展していないというのが実態です。

先程、令和5年度の計画については了承していただきましたが、令和6年、7年の中で、もっと新しい仕掛けや方法が考えられないか、知恵を出していただければありがたいと思います。

#### 図書館事務局

図書館としても今回、猫の日のイベントで市民団体とコラボできたことは、良い機会だったと思います。今後もできるだけ図書館の利用に関して門戸を広げ、市民や市内の各種団体からの要請等があれば図書館としても協力できることもありますので、本を読む、また貸し出すだけでなく、いろいろなイベントで集客を図り、ついでに本を借りてもらえるような活用をしていきたいと考えています。

## 5 その他

#### 委員

団体貸出しに関して、学校で借りた本を児童が借りたくなった時には、学校のカードで借りたものなので、学校としては又貸しになるので貸すわけにはいかず、学校図書館で読まないといけないことになります。それでも持ち帰って読みたいとなったときには、学校が返却した後に、児童が自身のカードで最寄りの図書館で借りるしか仕方がないこととなりますが、そうなることも手間になるため、学校図書館と地域の図書館を結ぶ何か方法がないかなと思っています。

#### 委員

図書館からすれば、やはり管理の問題があるためどこへでも本を貸し出しして良いものではないでしょう。

#### 図書館事務局

図書館としても本の管理上、誰がその責任を持つのが課題と思っています。

#### 委員

コロナの時に他市町の図書館にお伺いする中で、図書館としてレファレンスの部分を強化され、もう少し宣伝が届くと利用されるのではないかと感じました。兵庫県のいずれかの図書館でされているようで、いわゆる知りたいことや調べたいことについて相談に乗れるレファレンス機能が発達しているところは、結構、調べ物に年配層の方が行かれていると聞いていて、そのような強みのある図書館は年配層の方が利用されるのではないかなと思いました。

## 委員

お年寄りの方は、地域のコミセンに町誌とかを見せてほしいと言ってよく来られます。

そういう調べ物に対する対応という点でも電子図書館などにPDF化して掲載するのも良いのではないかと。

## 会長

確かに委員言われるように、市民のニーズと図書館のサービスが、うまくマッチングしているのかという視点で見たときに、やはり何かずれたところができているのではないかと思います。それらを解決するためには、やはり図書館職員の努力なしにはできないと思いますので、ご苦労さんですが頑張ってくださいと思います。

## 図書館事務局

最後にお知らせですが、図書館を含む社会教育・文化財課では、所管する社会教育施設がそれぞれの特徴を活かして対応できる校外学習に関するチラシを作成し、校長会等を通じてその利用について周知していきたいと思っています。図書館であれば、ブックトークや読み聞かせとかになりますが、自治会や自治協議会などでも活用いただければと考えています。

## 6 閉会

### 副会長

長時間にわたり、どうもありがとうございました。

コロナも開けていろいろな活動が再開されると思いますので、地域の人、市民のニーズにあった図書館づくりをめざして、いろいろなところと連携をし、また図書館から外へ出向いて、いろいろな活動をして、図書館を知ってもらうことで多くの方が図書館を利用していただけますように、これからも頑張っていきたい。私も読み聞かせグループとして頑張っていきたいと思います。本日はお忙しいところどうもありがとうございました。